

令和5年度くまもと農業アカデミー各講座内容

区分	本校	講座番号	本-2
講座名	先端技術紹介②（農業研究センター）		定員
開催日	令和5年8月9日(水)		
開催時間	13時15分から16時10分		
開催方法	（使用するアプリ） Webex （連絡先） TEL：096-248-6600（農業大学校研修部直通）		
優先する受講者の条件	県内の農業者		
講座の狙い	県農業研究センターの最新技術を紹介（園芸関係）		
講座の概要	県農業研究センターでは、「くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定」「稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発」「環境にやさしい農業を推進する技術の開発」に取り組んでいる。 そこで、本講座では農業研究センターの園芸関係の最新の研究成果について学ぶ。 〈発表予定の成果〉 ①トマト黄変果が発生する成熟ステージ、果実温度および遭遇時間の解明 ②促成ナス「PC筑陽」の収量1 tを生産するための窒素吸収量は約2.6kgである ③アリュウム「丹頂」早期安定出荷の実現に向けた要因解明 ④アリュウム「丹頂」切り花を6週間貯蔵しても商品性を維持できる技術 ⑤平坦地域冬春キャベツの根こぶ病は「発病リスク診断に基づく防除マニュアル」で被害を抑制できる ⑥メロン退緑黄化病は、調合油乳剤を利用した防除体系で防ぐ ⑦イチゴ「ゆうべに」は平坦地において9月21日を目安に定植する ⑧梅雨時期のアスパラガスの品質を保つ収穫後管理 ⑨日射条件により自動展張する単棟ハウス遮光システムの開発 ※本講座は令和5年度（2023年度）農業研究センター農産園芸研究所、生産環境研究所およびアグリシステム総合研究所合同成果発表会（園芸分科会発表）をオンライン配信します。		
講座の時間配分（目安）	開会 成果発表 総合討議 ※成果ごとの発表時間は別紙をご参考ください	13時15分～13時30分 13時30分～15時55分 15時55分～16時10分	
受講上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者は受講に使用するパソコンやスマホにあらかじめWebexアプリのインストールをお願いします。 ・講座に使用するミーティングIDは事前にお知らせします。 ・質疑の時間が限られておりますので、当講座を受講後、内容について御質問のある方は、別途お送りするアンケート用紙にご記入ください。後日、農業研究センターから御回答します。 		
受講料	無料		

先端技術紹介②（園芸関係） タイムスケジュール

テーマ	時間
開 会	13時15分～13時30分
①トマト黄変果が発生する成熟ステージ、果実温度および遭遇時間の解明	13時30分～13時45分
②促成ナス「PC筑陽」の収量1 tを生産するための窒素吸収量は約2.6kgである	13時45分～14時00分
③アリウム「丹頂」早期安定出荷の実現に向けた要因解明	14時00分～14時15分
④アリウム「丹頂」切り花を6週間貯蔵しても商品性を維持できる技術	14時15分～14時30分
休 憩	14時30分～14時40分
⑤平坦地域冬春キャベツの根こぶ病は「発病リスク診断に基づく防除マニュアル」で被害を抑制できる	14時40分～14時55分
⑥メロン退緑黄化病は、調合油乳剤を利用した防除体系で防ぐ	14時55分～15時10分
⑦イチゴ「ゆうべに」は平坦地において9月21日を目安に定植する	15時10分～15時25分
⑧梅雨時期のアスパラガスの品質を保つ収穫後管理	15時25分～15時40分
⑨日射条件により自動展張する単棟ハウス遮光システムの開発	15時40分～15時55分
総合討議	15時55分～16時10分
閉 会	16時10分

※あくまで目安の時間になりますので、お早めに接続をお願いします。